

検証・評価シート

北区計画 -平成26年度の取り組み状況-

将来像	<p>「人が集い 安心して暮らせる 魅力あふれる 緑といで湯のまち」</p> <p>人と人とのつながりを大切にし、農村地域とニュータウンなど都市部との地域連携・地域交流を促し、人・もの・情報が行き交い、暮らす人・訪れる人など多くの人が集うまちづくりを進めるとともに、広い区域、地形、まちの成り立ちなど、北区の地域特性を考慮したうえで、交通環境の向上など、日常生活における利便性・安全性を高め、子育て世代や高齢者などあらゆる世代が将来にわたって安心して暮らせるまちづくりを進める。</p> <p>また、北区に数多く残されている名所旧跡や伝統芸能などの歴史文化資源の保存・継承と活用を行い、魅力あふれるまちづくりを進めるとともに、豊かな自然に恵まれた緑のまちであり、環境マナー先進地である北区の美しい環境を、次世代のため守り育てていくほか、全国的に有名な湯のまち「有馬温泉」を、観光をはじめ健康づくりなど様々な分野に活用し、北区の活性化を図っていく。</p>	
	目標達成状況	<p>I. 地域力の向上</p>
<p>【主な取り組み状況】</p>		
<p>(1) 地域内での地域力の向上</p> <p>○新任自治会長研修 ・地域でのまちづくりや課題解決に向けた取り組みなどの地域活動を担っていくリーダーの育成を図るため、新たに就任した自治会長を対象に研修を実施。自治会長より地域活動の取組みに関する実際の体験談をお話いただき、また区役所からは各種助成制度の説明を行った。参加者は79名と昨年(51名)を大きく上回った。</p> <p>○災害直後の要援護者支援による地域力の再構築 ・災害直後に要援護者を地域で支援するための仕組みづくりとして、道場町では要援護者支援の仕組みを取り入れた北区総合防災訓練を実施した。また、淡河町では地域独自に要援護者情報を収集し要援護者台帳・マップの作成を行った。</p> <p>(2) 地域間の連携による地域力の向上</p> <p>○地域間交流活動 ・新旧住民交流などのため、神戸リサーチパークまちづくりクラブでは広報誌「まちふれんず」を発行した。また、道場町、長尾町、大沢町、八多町、鹿の子台の5町による「五町ハイキング」を行った。</p> <p>○地域主体の特徴的な活動 ・助成制度等を活用し、地域団体等が主体となって地域活動の活性化に取り組んだ。また、広域地域による大規模クリーン作戦を行った。</p> <p>(3) 地域力の向上を支える体制づくり</p> <p>○まちづくり協議会等の活動支援 ・まちづくり協定等に基づき、具体的な課題解決やまちの活性化等に取り組んでいるまちづくり協議会等に対して支援を行った。主な活動として有馬まちなみ景観委員会ではコンサルタントを派遣し、これからの有馬を考えるワークショップを開催した。</p> <p>○中学生の地域参加支援 ・地域福祉活動への理解を深めるため、ふれあいのまちづくり協議会での「トライやるウィーク」に参加した中学生自らが事業を企画・実施した。</p> <p>○鈴蘭台駅前の活性化に向けたイベント開催支援。 ・駅前商店や事業者、大学等と協力し、駅前のにぎわいづくりに取り組むため、鈴蘭台駅前元気UPプロジェクトを立ち上げ、クーポンの作成配布を行った。</p>		
<p>【総評】</p> <p>新任自治会長研修では、年間回数を2回に減らしたが参加者数が倍増した。また災害直後の要援護者支援に取り組む地域がでてきたほか、地域主体での地域間交流活動や中学生による地域参加の取り組みがあった。</p> <p>平成27年度は引き続き災害直後の要援護者支援体制づくりや、地域による主体的な活動を支援するほか、地域とともに鈴蘭台駅前の活性化や交通問題などに取り組む、地域力の向上を図る。</p>		

【主な取り組み状況】

(1) 自然や歴史とのふれあい

○農村歌舞伎上演会の開催

・上谷上農村歌舞伎舞台と下谷上農村歌舞伎舞台を会場とし、地域文化の活性化や伝統芸能のアピールなども目的に全国各地で開催されてきた全国地芝居サミットin神戸を開催した。上演会では、歌舞伎の上演のほか地元団体による舞台構造の実演を行った。

○都市との交流プロジェクト

・大沢町では不耕作地の活用などにより、都市と農村の交流を図るイベントを開催。どろんこバレー神戸大会、おおぞうふれあいコメづくり広場、おおぞうふれあいエコハイキングなどを実施した。

(2) 農の活用

○農の情報発信・PR

・北区に数多くある貸農園・観光農園・農産物の情報を広く発信するため、広報紙や区ホームページで果物狩りや特産農産物の特集を掲載するなど情報発信を行った。

○販路拡大に取り組む農村人材支援による地域の活性化

・地域で採れた新たな農産物の販路拡大のため、食材として調理し提供する場の設立を支援することで市内外からの集客につなげようと、「おいしいよ大沢町:夏野菜フェア」の開催支援を行った。

(3) 観光資源の活用

○茅葺きとのふれあい・情報発信

・北区の魅力である茅葺きを体験してもらい、情報発信するため、『茅葺き屋根とふれあう月間2014』として茅葺きをめぐるバスツアーや音楽とお茶会などのイベントを11月を中心に集中的に開催したほか、花山中尾台で茅刈りイベントなどを行った。

○北区の魅力発見ガイドブック

・区内の催しや観光施設やスポット、農産物・特産品や直売所のほか、古くから伝わる伝統芸能や祭りなどを紹介した観光ガイドブックを作成した。

(4) 情報の発信

○きたきたまつりの開催

・第41回「きたきたまつり」を鈴蘭公園で開催した。

○北区マスコットキャラクター作成

・区民に北区への愛着を深めてもらうため、北区のマスコットキャラクターであるキタールさんの着ぐるみやグッズを作成し、北区のPRにつなげた。

【総評】

全国地芝居サミットin神戸の開催による農村歌舞伎上演会や農村体験イベント、新たな農産物育成の取り組みや茅葺きを活用した情報発信など、自然や歴史、農、観光資源など北区の魅力を活用した取り組みを進めた。また、ホームページの充実により北区の情報発信に取り組んだ。

平成27年度は、引き続き自然や歴史とのふれあいに取り組むとともに、農村人材支援による農の活用、ホームページの充実やマスコットキャラクターの活用による北区の魅力の情報発信の強化を図っていく。

目標達成状況	III. 安全で便利なくらしの実現	評価: 前進
	<p>(1) 便利なまちの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農村地域における公共交通等の確保 ・大沢町・八多町でバス路線維持のため、昨年引き続き交通勉強会を開催した。また平成25年から実施した路線バスの社会実験での結果を踏まえ、平成27年度の社会実験に向けた検討を実施した。大沢町では利用促進のため、バス利用促進のチラシ(いちご狩り、いも堀、ハイキング)を作成した。淡河町では町民ニーズの把握のためのアンケートを実施した。 ○路線バスの活性化対策 ・北区内の一部の市バス路線が民間バスに移譲され、それをうけて地域での取り組みとして有野台地域においては将来に向けたバス路線の活性化を図るため、地域団体、行政、交通事業者での勉強会を開催した。 <p>(2) 安全なまちの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域防犯交流会、北区民暴力団追放大会の開催 ・地域防犯に関する講演及び、暴力団追放の機運を高める大会を開催した。 ○北区総合防災訓練の実施 ・集中豪雨が引き起こす災害を想定し、道場町防災福祉コミュニティが中心となり、避難所開設・運営訓練などを実施。また、道場町連合自治会が中心となり、災害直後に地域の助けを必要とする災害時要援護者への情報伝達訓練、避難誘導訓練も行った。 ○鈴蘭台駅前周辺のまちづくり ・平成26年3月に再開発ビル入居者の配置計画となる管理処分計画決定後、7月には再開発ビルの設計・施工・管理運営などを一括して行う特定建築者を決定した。 	
	<p>[総評]</p> <p>北神の農村地域において、バス路線維持のための勉強会やアンケートを実施するとともに、利用促進のための取り組みを行った。また、北区総合防災訓練や防災交流会を実施し、安全・安心なまちづくりを推進した。</p> <p>平成27年度は、公共交通の確保などの課題に地域と協力して更に取り組むなど、安全で便利なくらしの実現を図っていく。</p>	
目標達成状況	IV. 次世代づくり	評価: 顕著な成果
	<p>(1) 子どもを育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世代間交流イベントの開催 ・地域で子育てを支援する関係者が集まる交流イベントとして、ありまホールで「わくわくカーニバル」、すずらんホールで「きてきてカーニバル」を開催した。 ○子育て応援講座 ・地域で子育て支援を行っているふれあいのまちづくり協議会に対して、子育て支援の人材育成のための講義や実習を行った。地域での子育て支援の充実を図るため、「最近の子育て事情」や「子どもの遊ばせ方」などをテーマに南部では4回、北神では3回シリーズで開催した。 <p>(2) 青少年を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北区青少年フェスタの開催 ・中高生を中心とした青少年により企画運営される「北区青少年フェスタ」を開催し、青少年を地域で讃える賞表彰式や青少年芸術祭を行った。 ○命の感動体験事業 ・小学生が乳幼児やその保護者とふれあい、命の大切さを学ぶ命の感動体験事業を山田小学校、桜ノ宮小学校、有野東小学校、唐櫃小学校で実施した。 	
	<p>[総評]</p> <p>南部・北神それぞれで世代間交流イベントを開催するとともに、青少年の自主的な活動である青少年フェスタにより学校を超えた仲間づくり、地域との交流を図った。</p> <p>平成27年度は引き続き世代間交流による子育て環境の整備、青少年育成活動充実に取り組むほか、小中学生の若い力による自主的な地域貢献活動、魅力発信活動を支援していく。</p>	

目標達成状況	V. 健康づくりと福祉の充実	評価: 顕著な成果
	<p>(1)健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こうべ健康ウォーク <ul style="list-style-type: none"> ・歩き方教室や健康チェック等を取り入れたウォーキングを開催した。コース途中のポイントでは、地域住民による炊き出しや地元の野菜などの物販も行われた。 ○健康づくりリーダー養成講座 <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりリーダーのフォロー研修や健康運動指導士派遣による活動支援を実施したほか、新規自主活動グループの立ち上げも行われた。 <p>(2)高齢・障害福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絆サポーターによる高齢者への目配り事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が日々の暮らしの中で目配りを行う絆サポーター活動の対象地域の拡大を行った。また、登録された絆サポーターへの研修会を開催した。 ○障害者地域自立支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者に対する理解を深める「ふれあい講演会」や障害者の芸術作品の展示会「ふれあいフェスタ」を開催した。 	
	<p>[総評]</p> <p>こうべ健康ウォークなど健康づくりの行事を開催するとともに、地域の自主活動を担う健康づくりリーダーのフォローを行うなど、健康づくりの推進に取り組んだ。また、絆サポーターによる高齢者への目配り活動の拡充に取り組むなど地域住民主体の地域福祉活動を支援した。</p> <p>平成27年度は、引き続き健康づくりのための行事や地域福祉活動への支援を行うとともに、絆サポーターの更なる拡充など、地域団体の自主的な活動への支援を行う。</p>	
	VI. 美しいまちの推進	評価: 前進
<p>(1)美しいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クリーンキャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ぼい捨て防止重点区域に指定されている地域(鈴蘭台駅周辺、有馬、岡場・田尾寺駅周辺、西鈴蘭台駅周辺)でクリーンキャンペーンを実施した。 ○クリサンセマムストリート事業 <ul style="list-style-type: none"> ・鈴蘭台駅前から北区役所までの道を「クリサンセマムストリート」とし、北区連合婦人会が主体で四季折々の花の植え付けや装飾を実施した。 <p>(2)豊かな自然を守り育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山田川クリーン作戦 <ul style="list-style-type: none"> ・「山田川を美しくする会」により、山田川の河川流域(大池から衝原湖約13km)と周辺住宅地域における一斉クリーン作戦を実施した。 ○KEMS(神戸マネジメントシステム)への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・区役所における各種環境負荷の改善活動を行った。 ○「美しいまちを守り、ごみの減量、資源化を推し進める協定」の締結 <ul style="list-style-type: none"> ・協定締結団体の増加と活動推進のための呼びかけを行ったが、新たな締結には至らなかった。 <p>(3)マナー・モラルの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペットのしつけやマナーアップ教室等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・住民に対する犬のしつけ方教室を3回開催し、マナー啓発看板の配布を行った。 ○環境ポスター展 <ul style="list-style-type: none"> ・「美しいわがまちキャンペーン」の一環として青少年の作成した環境ポスターの展示を行うもので、キャンペーン列車の運行を行った。 		
<p>[総評]</p> <p>各種クリーン作戦など、地域団体が主体となりまちの美化・啓発に取り組んだ。</p> <p>平成27年度は引き続きクリーン作戦の推進や環境意識の啓発に取り組み、ごみの減量・資源化や環境マナーの向上などを図っていく。</p>		

指標項目	策定値	23年度評価	24年度評価	25年度評価	26年度評価	ともに目指そう値
		数値	数値	数値	数値	
新たに「地域提案型活動助成」で採択された活動のうち、継続している活動数を平成27年度までに15団体増やす。	—	継続している活動 10件	継続している活動 15件	継続している活動 18件	継続している活動 25件	新たに15件
自治会の新規結成数もしくは連合自治協議会の加入数を平成27年度までに5団体増やす。	(単位自治会数) 377団体 (連合自治協議会 加入数) 236団体	新たに2団体 (H21比+2団体)	新たに0団体 (H21比+2団体)	新たに1団体 (H21比+3団体)	新たに0団体 (H21比+3団体)	新たに5団体
茅葺き民家を活用したイベントの開催数を平成27年には10回/年開催する。	6回/年	9回/年	11回/年	14回/年	17回/年	10回/年
区内で受講した市民救命士資格取得者数を平成27年度までに12,000人増やす。	18,053人	新たに3,848人	新たに3,446人 (H21比+9,600人)	新たに1,600人 (H21比+11,200人)	新たに2,556人 (H21比+13,756人)	新たに12,000人
北区民暴力団追放大会を毎年継続して開催する。	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年 継続開催
世代間交流事業を平成27年度には30回/年開催する。	18回/年	28回/年	42回/年	41回/年	65回/年	30回/年
健康づくりリーダーの養成者数を平成27年度までに100人増やす。	400人 (平成22年度)	436人	436人	475人	497人	500人
「美しいまちを守り、ごみの減量、資源化を推し進める協定」を平成27年度には30団体と締結する。	17団体 (平成22年9月)	19団体	20団体	20団体	20団体	30団体
地域資源集団回収量(年間1世帯あたり)を平成27年度には165kgに増やす。	135kg	133kg (平成22年度)	128.8kg (平成23年度)	122.1kg (平成24年度)	114.1kg (平成25年度)	165kg

まちづくり指標の状況